



平成 26 年 3 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 26 年 2 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 26 年 2 月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D分野	8	3.1%	△78.3%	△93.6%
半導体分野	72	26.6%	8.0%	92.4%
その他分野	191	70.3%	△12.9%	—
合計	272	100.0%	△16.5%	45.9%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H25.3月	4月	5月	6月	7月	8月
F P D分野	139	91	51	49	56	48
半導体分野	36	46	47	46	45	53
その他	1	0	2	0	0	0
合計	177	138	101	96	102	101

区分	9月	10月	11月	12月	H26.1月	2月
F P D分野	52	72	68	62	39	8
半導体分野	53	59	64	63	67	72
その他	4	29	64	121	219	191
合計	109	161	197	248	325	272

3. 月次受注残高の概況

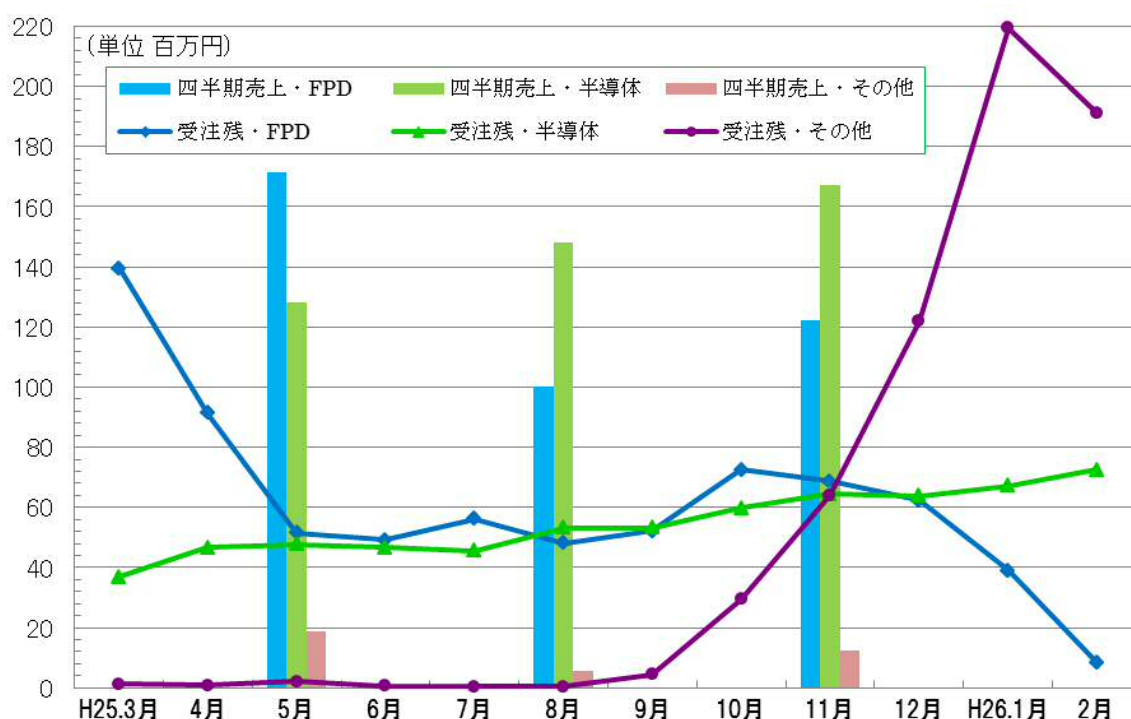
平成26年2月末の受注残高は、FPD分野においては、出荷検収が進みながらも受注が停滞したことから、対前月増減率で78.3%減、対前年同月増減率では93.6%減の8百万円となりました。半導体分野においては、受注および出荷検収ともに好調を維持し、対前月増減率で8.0%増、対前年同月増減率では92.4%増の72百万円となりました。一方、その他分野においては、光学分野の受注が好調に推移しながらも、出荷検収が開始されたことから、対前月増減率で12.9%減、対前年同月比は大幅増加の191百万円となりました。これらの結果、平成26年2月末の受注残高は、対前月増減率16.5%減、対前年同月増減率45.9%増の272百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、FPD分野では、3月に入り既に足元では改善傾向が始まっております。また、半導体分野では、受注品種と数量ともに増加傾向が継続していることから、受注高および売上高の増加は継続する見込みです。その他分野においては、今後は出荷検収に伴い受注残高は減少しながらも、一定の受注は継続する見通しを持っております。

全般的には、市場環境に改善傾向がみえております。このようななかで、協力企業との取引拡大を行うなど、生産能力の拡大を進め、更に受注拡大を目指します。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。